

-令和3年度- 出張おんせん県議会若者DAY

日時：令和3年7月1日（木）16：30～18：00 会場：日本文理大学
参加者：日本文理大学生10名、三浦 正臣広報委員長ほか議員8名



テーマ：「地域で学ぶ、おおいたの未来」

日本文理大学人間力育成センターでは、「大分地域をキャンパスに」を合言葉に、学生たちが自由に集まり、様々な地域課題解決のための活動を行っています。今回は主に地域の子ども支援に取り組む学生に参加いただき、これからの活動の展望や、地域が抱える課題について、議員と率直な意見を交わしました。学生からは「学生や若い人に求めることは何か」、「政策はどのように考えているのか」といった質問も上がり、「貴重な体験だった」との感想をいただきました。



学生感想



- ・議員の方と話すのは初めてだったので、とても貴重な体験だった。
- ・参加する前は話す内容など不安ばかりであったが、自分の意見や体験談をしっかりと述べられたと思う。

・議員は遠い存在だと思っていたが、地域のために活動している方ばかりだったので、身近な存在であり、これからともに活動してみたいと思った。



- ・話しやすい雰囲気をつくってくれて、意見を言いやすく、とても有意義だった。
- ・もっと時間があれば様々な質問ができたのにと感じた。これを機に政治・選挙に関心を持ち、知識を蓄えていこうと思う。

